

## 「新たな総合戦略(R5～R9年度)」骨子(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年3月14日(火)から令和5年4月12日(水)までの間、オープンとくしま・パブリックコメント制度による意見を募集したところ、5名の方から29件の御意見をいただきました。御意見の概要と県の考え方は次のとおりです。

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○徳島県が上勝町をモデルケースに「いのち輝く 世界の桃源郷 世界の理想郷」になる。</li> <li>○徳島県が「いのち輝く世界の桃源郷とくしま・世界の理想郷とくしま」で、新たな徳島新時代に向けてスタートアップをする。</li> <li>○徳島県が「いのち輝く世界の桃源郷とくしま・世界の理想郷とくしま」で、新たなとくしま未来創生の幕開けをする。</li> <li>○徳島県が徳島県民一人一人が主役本位の県政運営並びに県政施策を行う。</li> <li>○徳島県が徳島県民一人一人のとの対話中心主義による県政を行う。(県民懇談会・県民懇話会・タウンミーティングなど)</li> <li>○徳島県が徳島県民一人一人が主人公となる県政運営の推進並びに県政施策の推進をする。</li> <li>○徳島県が人づくりは豊かな明日又は豊かな未来への徳島県の郷土づくりと考える。</li> </ul>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○徳島県が四国経済産業局と中小企業基盤整備機構四国本部と一体となつて、地域地場産業の産業振興及び次世代経済成長分野産業の産業振興を行う。</li> </ul>	<p>本県におきましては、四国経済産業局や四国のほか3県等と連携し、合同でプロジェクトを実施するなど、四国地域の持続的な発展に向けた取組を進めております。</p> <p>また、中小企業基盤整備機構につきましては、本県経済の活性化に向けた、県内企業の振興を支援するファンドを共同で構築するなど、一体となった企業支援に努めております。</p> <p>今後とも、頂戴した御意見を施策の参考とさせていただいた上で、県内産業の振興を推進して参ります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○徳島県が主体となつて、香川県・愛媛県・高知県と一致結束・一致団結して「四国広域連合」を発足させる。併せて、徳島県が香川県・愛媛県・高知県との関西広域連合とのパイプ役の役割を果たす。橋渡しの役割を果たす。</li> </ul>	<p>地理的な結びつきを活かした四国4県の緊密な連携のもと、広域観光をはじめ、四国遍路の世界遺産登録に向けた取組など、様々な分野で施策を推進するとともに、本県がチャーターメンバーとして参画する「関西広域連合」の取組による施策の効果を、四国各県をはじめ全国に広く発信してまいります。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
4	<p>○徳島県がデジタル6Gに対応する「徳島県全域デジタル6G光の道・ICT情報スーパー・ハイウェイ」の更なる情報通信基盤整備の整備を行う。</p>	<p>令和2年3月より全国で開始された「5G」サービスは、医療・防災・教育など様々な分野における活用が期待される一方で、地方での整備は後回しになることが危惧されたため、本県では、自治体等が自ら構築できる「ローカル5G」に着目し、全国の自治体で初となる予備免許の取得や、県と通信事業者で5G設備を共有する「インフラシェアリング」の実装など、積極的な導入と活用に取り組んでいるところです。</p> <p>また、5Gの持つ超高速・超低遅延・多数同時接続といった特性を発揮するため、全県域に高速基幹回線を整備し、併せて事業者等が10ギガネットワーク接続サービスを提供するために必要となるアクセスポイントの設置を行いました。</p> <p>こうした取組により構築した情報通信基盤の活用を積極的に推進するとともに、世界各国で研究開発が進められているBeyond5G(6G)の動向をしっかりと捉え、本県での導入と活用に向けた具体策の検討に努めて参ります。</p>
5	<p>○徳島県が徳島大学本部事務局と一体となつて、「徳島大学における総合大学化の推進」を行う。</p> <p>※徳島大学総合科学部を法政治経済学部と人文学部に改組する。</p> <p>※徳島大学に獣医学部又の開設は生物資源産業学部と共同獣医学科の設置を行う。⇒高度人材の獣医師の人材養成</p> <p>※徳島大学医学部保健学科看護学専攻を徳島大学看護学部として独立した看護学部の開設を行う。⇒例 千葉大学看護学部</p> <p>○徳島県が慶応義塾大学(法学部・経済学部・商学部・理工学部・医学部・歯学部・薬学部)と一体となつて、高度人材の人材育成を行う。</p> <p>※高度人材⇒博士号の学位を有する者・辯護士・公認会計士・不動産鑑定士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士・医師・歯科医師・薬剤師・一級建築士・弁理士・技術士</p> <p>※慶応義塾大学は東京歯科大学を吸収統合して、新たに慶応義塾大学歯学部としてスタートアップをする。</p> <p>○徳島県が慶応義塾大学に徳島県公立高校指定優先入学枠を開設する</p> <p>※ 城南高校、城東高校、城北高校、城ノ内中等教育学校、徳島北高校、徳島市立高校、鳴門高校、富岡西高校、富岡東高校、川島高校、阿波高校、脇町高校、池田高校、海部高校</p> <p>○徳島県が慶応義塾大学の校訓の「独立自尊」、「気品の泉源」、「自我作古」、「実学」、「半字半数」を見習う。</p> <p>○徳島県が筑波大学附属駒場高等学校の校訓の「挑戦」、「創造」、「貢献」を見習う。</p> <p>○徳島県が神山まるごと高等専門学校から慶応義塾大学理工学部への三年次編入ができるようにする。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
6	<p>○徳島県が徳島県民一人一人に徳島県威向上及び徳島県威高揚で、徳島県民一人一人が豊かで住みよいまちづくりで「住んで良かった徳島県・人に語れる徳島県・人に誇れる徳島県」を実感できるようにハード面及びソフト面の両面にわたる施策を積極的に展開する。</p> <p>※ 一人一人が輝く あったかい徳島県          ※ 産業が興る カつよい徳島県          ※ 豊かな自然があふれる 美しい徳島県          ※ 交流人口が広がる 賑わう徳島県          ※ 叡知と創意工夫の未来創造の視点 徳島県⇒我より古を作す。          ※ 自主・自立の視点</p> <p>○徳島県の政治主導で「100年以上続く企業が生まれ育つ都の郷土風土づくり」で、徳島県を取り戻す。</p> <p>○徳島県の政治主導で徳島県民一人一人が「住んで良かった 美しい徳島県」、「人に語れる美しい徳島県」、「人に誇れる 美しい徳島県」による動機づけによるモチベーションの向上で県威発揚の実感並びに県威高揚の実感で、徳島県を取り戻す。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
7	<p>○徳島県と徳島県教育委員会が一体となつて「VS東京」の取り組みの一環で、徳島県立城ノ内中等教育学校を「徳島県における東京都立小石川中等教育学校」にする。併せて、徳島県と徳島県教育委員会が一体となつて、徳島県立の中等教育学校を増やす。          ※全国の公立の中等教育学校⇒東京都立桜修館中等教育学校、東京都立三鷹中等教育学校、千代田区立九段中等教育学校、愛媛県立松山西中等教育学校、愛媛県立今治東中等教育学校、愛媛県立宇和島南中等教育学校、</p> <p>○徳島県と徳島県教育委員会が一体となつて「VS東京」の取り組みの一環で、徳島県立城南高等学校を「徳島県における東京都立日比谷高等学校」にする。</p> <p>○徳島県と徳島県教育委員会が一体となつて「VS東京」の取り組みの一環で、徳島県立徳島科学技術高等学校を「徳島県における東京都立科学技術高等学校」にする。</p>	<p>城ノ内中等教育学校は「学力分野のリーディングハイスクール」として、城南高等学校及び徳島科学技術高等学校は「SSH(スーパーサイエンスハイスクール)」として、それぞれ特色ある教育活動を展開するとともに、その成果の普及にも努めています。また、徳島県教育委員会では、令和3年4月に全ての県立高等学校・中等教育学校のスクール・ミッションを再定義し、これを受けて、同年6月には各学校が「スクール・ポリシー」を策定しました。</p> <p>これらを踏まえ、普通科、専門学科、総合学科の全ての高等学校・中等教育学校における教育活動の方向性をより一層明確に定め、各校の一層の特色化・魅力化を推進しているところです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
8	<p>○徳島県が徳島大学理工学部及び徳島大学生物資源産業学部と一体となつて、FOOD×ICT情報通信技術を組み合わせたフードテックの取り組みで食料自給率の向上に貢献する。</p> <p>※ ICTスマート植物工場 食用コオロギなど</p>	<p>本県では、徳島大学と連携し、スマート技術はじめICTを活用した食料生産に関する研究開発等に取り組んでいるところです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
9	<p>○徳島県が三菱商事との間で「地方創生並びに地方再生に関する包括的な連携協定」の締結をする。  ※三菱商事の協力を得て「徳島県庁における三菱商事化」で、情報収集力、情報分析力、情報発信力、マネジメント力、マーケティング力のUPをする。  ※徳島県が三菱商事の三綱領(所期奉公・処事光明・立業貿易)を見習う。  ※三菱商事が徳島県にICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設する。  ※三菱総合研究所が徳島県にICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設する。</p> <p>○徳島県が慶応義塾大学との間で「地方創生及び地方再生に関する包括的な連携協定」の締結をする。  ※慶応義塾大学が徳島市内に慶応義塾大学徳島中等教育学校を開校する。  ※慶応義塾大学野球部並びに慶応義塾高等学校野球部がアグリあなんスタジアムで野球合宿を行う。  ⇒慶応義塾大学野球部には清原和博氏の長男の清原正吾氏が在籍している。  ⇒慶応高等学校野球部には清原和博氏の二男の清原勝児君が在籍している。  ※徳島県が慶応義塾大学の協力を得て、慶応大学病院と徳島大学病院との間で広域な医療連携を行う。</p>	<p>本県では、「地方創生」に意欲的な民間企業等と「地方創生の推進に係る包括連携協定」を締結し、双方の強みを活かした「官民協働」の取組を推進しております。  いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
10	<p>○徳島県が総務省が提唱する「全国民間地上波テレビ放送局完全四波方式導入」を推進する。  ※徳島県は地元へ四国放送の民間地上波テレビ放送局の一局の民間地上波テレビ放送局の過疎県 同時に、佐賀県も地元へサガテレビの民間地上波テレビ放送局が一局</p>	<p>本県では平成23年の地デジ化によって区域外波(県外のアナログ波)を受信できなくなり、県民の皆様が親しんできた番組が視聴できなくなることから、平成14年から「全県CATV網構想」を推進し、民間事業者や市町村と協力しながら全県域にケーブルテレビ網の整備を行って参りました。  この結果、平成22年度末にはケーブルテレビにより県外放送を視聴できる環境が県下全域に広がるとともに、過疎地域においても高速な情報通信回線が整備され、数多くの「サテライトオフィス」が県内各地に開設されることにも繋がっております。  今後とも、こうした取組を更に発展させ、デジタル技術を活用した地域課題の解決を推進するとともに、総務省が開催する「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」等の議論を注視し、本県における視聴環境の維持及び向上に努めて参ります。</p>
11	<p>○徳島県が三菱商事四国支店の企業誘致を行う。</p>	<p>本県におきましては、県内外の企業の立地促進等の取組により、地域経済の活性化と雇用機会の確保を図ることとしております。  いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
12	<p>○徳島県が「シンク・グローバリー アクト・ローカリ-」を実行・実践する。  ※SDGs 持続可能な開発目標管理  ※世界の名門大学の誘致(オックスフォード大学・ハーバード大学・ケンブリッジ大学・スタンフォード大学・マサチューセッツ工科大学・カリフォルニア工科大学など)</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
13	<p>○徳島県が慶応義塾大学通信教育部事務局(法学部・経済学部・文学部)のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設する。  ※学び直しによるスキルアップの向上  ※徳島県内企業のリスキングの成功のため</p>	<p>地方創生を加速する上で、県内外の大学の知的・人的な資源を活用することは極めて有効と考えており、いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
14	<p>○徳島県が更なる広域的な交流人口の活性化に向けて、神戸淡路鳴門自動車道と徳島阿波おどり空港の双方の特性を利活用しての総合戦略を進める。</p>	<p>本県では、国内外の旅行会社に対し、観光商談会や観光セミナーにより誘客営業活動を展開するとともに、個人旅行者に対しても、SNSや航空会社等とも連携した官民一体での戦略的な情報発信を行っています。  また、本県は「四国ツーリズム創造機構」、「せとうち観光推進機構」、「関西観光本部」の3つの広域連携DMOにも所属しており、スケールメリットを生かした観光誘客にも取り組んでいます。  これらを通じ、陸路・空路など異なるアクセス手段により来県いただいても本県観光を楽しんでいただけるよう取り組んでいるところです。</p>
15	<p>○徳島県を”デジタル実装の聖地”にする</p>	<p>本県では、「ローカル5G」を活用した遠隔医療の実施や救急医療DXの実証、全国初となる「インフラシェアリング」の導入、「AI」や「ドローン」等を活用した「スマート農林水産業」及び「i-Construction」の推進など、様々なデジタル技術の実装に取り組んでいるところです。  また、こうしたデジタル化のメリットを誰もが享受できるよう、「e-とくしま推進財団」をはじめ、「シルバー大学校・大学院」や「平成成長久館」、「情報産業協会」など関係機関との連携により、ICTに不慣れな高齢者や障がい者、また、企業や学校などへの「デジタル活用支援」を進めているところです。  今後も「誰一人取り残されないデジタル社会」の実現に積極的に取り組んで参ります。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
16	<p>○徳島県が三菱商事本社の社員食堂に徳島県産の農水産物の食材を提供する。</p> <p>○徳島県が慶応義塾大学の学生食堂並びに教職員食堂に徳島県産の農水産物の食材を提供する。</p> <p>○徳島県が慶応大学病院の病院院内食に徳島県産の農水産物の食材を提供する。(但し、入院時食事療養費を考慮する。標準負担額は公的医療保険の一般被保険者は一食につき460円)</p> <p>○徳島県が慶応大学病院の外来食堂並びに職員食堂に徳島県産の農水産物の食材を提供する。</p>	<p>本県では、大手企業や大学と連携し、飲食店や社員食堂等での県産食材フェアを開催するなど、県産食材の認知度向上に取り組んでいるところです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
17	<p>○徳島県が三菱商事と一体となつて、海外の資本、海外の高度人材、海外の最新先端高度技術、海外の最新高度情報を徳島県に呼び込んで 徳島県を取り戻す。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
18	<p>○徳島県が三菱商事と一体となつて、徳島県の農林水産品を海外に向けての新規販路開拓や販路拡大で海外への輸出促進をする。</p>	<p>本県では、県産農林水産物の国内外の商社や現地小売・飲食店関係者への販路開拓や一般消費者に向けた県産品PRを進めているところです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
19	<p>○徳島県が慶応義塾大学競技ダンス部の協力を得て、徳島県の公立高校の体育実技にダンス競技を取り入れる。</p>	<p>ダンス(表現運動)は、学習指導要領において、小学校、中学校では必修、高等学校では選択科目と定められており、学生の間には「多様な運動を経験できる環境づくり」に努めております。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
20	<p>○徳島県の政治主導で、徳島市を中心とする徳島県東部圏域における徳島東部都市圏を構築して徳島県を取り戻す。併せて、高松自動車道及び徳島自動車道とJR高德線の特急うずしお号で香川県東讃地域を徳島東部圏域に引き付ける。神戸淡路鳴門自動車道で南あわじ市と洲本市から徳島東部圏域に引き付ける。</p> <p>※三越徳島とイオンモール徳島などへの買い物客を呼び込む。</p> <p>※徳島県の県庁所在地の徳島市を中核市にする。(全国の都道府県の県庁所在地で中核市になっていないのは、山口市、また、津市と佐賀市は中核市移行に向けて準備中)</p> <p>○徳島県の政治主導で、阿南市を中心とする徳島県南部圏域における徳島南部都市圏を構築して徳島県を取り戻す。</p> <p>○徳島県の政治主導で、美馬市及び三好市を中心とする徳島県西部圏域における徳島西部都市圏を構築して徳島県を取り戻す。併せて、愛媛県東予地域(四国中央市と新居浜市)を徳島西部圏域に引き付ける。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
21	<p>○徳島県の政治主導で、徳島県に百人以上雇用できる企業による百社以上の企業立地による「徳島県壱万人新規雇用事業」で徳島県を取り戻す。</p> <p>○徳島県の政治主導で、徳島県における正社員の完全雇用率100%達成の実現で完全失業率を0%にして、徳島県を取り戻す。</p>	<p>本県におきましては、県内外の企業の立地促進等の取組により、地域経済の活性化と雇用機会の確保を図ることとしております。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
22	<p>○徳島県が三菱商事の協力を得て「株式会社 徳島県庁」にする。</p> <p>○徳島県の政治主導で徳島県民一人一人が「健康で文化的な最低限度の生活を営む生活水準を維持する」ことを保障することで徳島県を取り戻す。⇒誓約書と確約書を提出 ※徳島県が徳島県民一人一人の日常生活の面倒を見る。</p> <p>○徳島県の政治主導で徳島県民一人一人が「人たるに値する生活を営む生活水準を維持する」ことを保障することで徳島県を取り戻す。⇒誓約書と確約書を提出 ※徳島県が徳島県民一人一人の日常生活の面倒を見る。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
23	徳島が若い人が安心して暮らし続けることのできる場所であってほしいと思います。そのためには経済的な安定が必要かと思しますので、そこをぜひ計画に取り入れていただきたいです。	<p>本県におきましては、県内外の企業の立地促進等の取組により、地域経済の活性化と雇用機会の確保を図ることに加え、企業におけるDX、GXの導入支援による生産効率の向上や多様で柔軟な働き方であるテレワークの県内企業への普及などにより、本県経済の活性化及び雇用の促進に努めています。</p> <p>今後とも、頂戴した御意見を施策の参考とさせていただいた上で、県内産業の振興を推進して参ります。</p>
24	徳島を誇りに思うためには、徳島の魅力を若い人にも知ってもらうことが必要だと思えます。学校での取り組みを含めた情報発信をお願いします。	<p>本県では、「あわっ子文化大使」に任命された中学生が、「あわ文化」の継承・発展を担うリーダーとして活動しております。活動においては、普段から大切にしている身近な郷土の文化や、取材ツアーをとおして見いだした人・もの・自然などの徳島の魅力について、広報誌や展示、ホームページ、動画等を通じて広く国内外へ発信することに努めております。</p> <p>また、令和3年度からは、若者に徳島への愛着と誇りを持っていただくため、高校生を対象に、徳島をより良くするアイデアを広く募集し、高校生が主体的に徳島や身近な地域のことを調べ、考え、発表いただくコンテストを開催しております。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
25	年を取ると新しいシステムや言葉が分かりづらいです。計画では、言葉の意味を解説いただくなどしてもらえるとありがたいです。	<p>本県の現行の総合戦略(第2期)では、文中で使用される主要な用語についての「用語解説」を掲載し、言葉の意味を解説しております。今後策定する総合戦略におきましても、誰にとっても分かりやすい言葉を使用するとともに、新しい用語等については、用語解説を掲載することで、県民の皆様にとって分かりやすい総合戦略となるよう努めて参ります。</p>
26	最近デジタル化という言葉をよく聞きますし、自分もネット通信など、かなりお世話になっています。これからはより様々な分野で活用されるかと思しますので、具体的な活用例などあれば理解しやすいと思いました。	<p>地方において、新たなデジタル技術の活用により、地域企業の商圏の拡大、地理的制約にとらわれない働き方やサービスの享受などが可能となり、地域の活性化が図られることが期待されます。</p> <p>例えば、デジタルの普及により、テレワークなどの場所にとらわれない新しい働き方が可能となるとともに、インターネットショッピングや遠隔医療、遠隔教育など地方に居ながら都会と同様のサービスを享受することも可能となっています。</p> <p>県では、県民の皆様の暮らしや社会をよりよくしていくため、生活や社会経済活動に密接する様々な分野において、多様な主体と連携、協力しながらデジタルを活用したサービスの実装に取り組んで参ります。</p>



No.	いただいた御意見	御意見に対する県の考え方
27	<p>まず「未知への挑戦」の総括と公開が必要ではないか？何がよくて、どこがまずかった？達成状況はどうだった？未達の原因はなに？等々。やりっぱなしは無責任です。</p>	<p>本県では、外部有識者で構成される「県政運営評価戦略会議」において、毎年、前年度における「総合戦略に基づく施策や事業」について、評価を受けるとともに、総合戦略の策定・改定にあたっては、同会議等でいただいた御意見・御提言を踏まえるなど、検証と改善見直しを実施しております。</p>
28	<p>人口減少と少子・高齢化は明らか。当然県庁職員数もいまの状態を維持できるとは思えない。したがって、あれもこれも手を広げず、テーマの厳選と集中を図るべき。ずっと目標に掲げているのに一向に進捗の見られない項目は思い切ってやめる、例えば、牟岐線の高架化。知事が変わるので新駅はないと思うが、もし今の線路のまま新駅を造るなら高架化の実現はまず不可能である。矛盾した施策自体が理解できないが。</p> <p>業務の遂行、施設の建設と維持管理には予算的な裏付けが皆無では意味がない。日本および徳島県の人口が減少すれば現状の日本経済の状況では税収や補助金は減少する。必要なインシアルコスト、ランニングコストを見込み、借金地獄に陥らないよう、背伸びをしない施策を立案するべき。「先進地」ばかりを見ていてもキリがない。</p>	<p>限りある資源(人材や予算など)の中で、地方創生を推進していくにあたり、御意見いただきました施策の厳選と集中は大変重要であると認識しております。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
29	<p>徳島城での体操は、老若男女共に喜ばれています。町の近場にあり、上り下りも緩やかで、手軽に行くことができます。以前には、森林浴がブームになった時代もありました。心の豊かさは、形に現すことはできません。町の中にブナ林を作り、手軽に立ち寄れる場を作ればと考えます。ブナは成長が早く、丸く育つため、適度に日陰を作り、枝打ちもいりません。脱炭素化に役立ちます。短歌を読むことにより、人生に救いとなっていると聞くことが多くあります。現代は、核家族、スマホが友達で、家族間で会話がな、従って孤立化、孤独化を招き、小学生～高校生まで自殺が過去最高になっています。人権問題が絡み、対人関係が希薄にもなっています。同じ物を求める物品の豊かさから脱却し、物の不足を我慢する精神力の強さを尊ぶ風潮が、人口減少に歯止めをかけるのではないかと思います。儒教の精神が必要です。</p>	<p>いただきました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>